

NEWS RELEASE

2018年6月22日

各位

銀聯国際有限公司
三井住友カード株式会社

三井住友カード、『銀聯QRコード決済』を国際決済ブランドとして日本初導入！

銀聯国際有限公司（本社：中国上海、CEO：蔡 劍波、以下：銀聯）と三井住友カード株式会社（本社：東京都港区、社長：久保 健、以下：三井住友カード）は、国際決済ブランドによる QR コード決済である『銀聯 QR コード決済』の取り扱いを、2018年7月上旬を目途に日本で初めて開始いたします。

近年、中国ではモバイル決済が急速に普及しています。ユーザーのモバイル決済ニーズを満たすために2017年5月、銀聯は中国40行以上の商業銀行と連携し、中国国内で『銀聯 QR コード決済』の取り扱いを開始いたしました。同年6月には香港とシンガポールでの取り扱いを開始し、現在はアジア太平洋、中央アジア、中東、アフリカの19の国と地域において、小売業・レストラン・観光地・娯楽・宿泊施設・交通機関等さまざまなシーンで『銀聯 QR コード決済』による支払いが可能となり、より多くの中国人観光客に喜ばれています。

今回、日本で導入するスキームは、加盟店がタブレット端末等でQRコードを表示して会員が読み取る方式で、加盟店が銀聯の「QRコード加盟店サービスプラットフォーム」をダウンロードし、登録を行うことで取り扱いいただけるようになります。

また、『銀聯 QR コード決済』はEMV規格に準拠し、トークン決済を採用しています。情報取り扱いや決済リスクへの対応も備えており、安全にご利用いただけます。

システム上の改造は一切不要で、現在、羽田空港（日本空港ビルディング株式会社）、松屋銀座、ラオックス、JTCの4社が導入を予定しております。

※『銀聯 QR コード決済』には以下の二つの方法があります。

今回、日本では②を導入いたします。

- ①自身のスマートフォン等でQRコードを表示して加盟店が読み取る「会員表示型」
- ②加盟店がタブレット端末等でQRコードを表示して会員が読み取る「加盟店表示型」

【導入予定施設】

	導入施設名	業種	導入店舗について
1	羽田空港 (日本空港ビルディング株式会社)	空港	国際線旅客ターミナル内免税店より順次導入予定
2	松屋銀座	百貨店	8F レストランシティの全店舗 (9店舗)
3	ラオックス	免税店	秋葉原本店、銀座本店、新宿本店等の全国26店舗
4	JTC		新宿、大阪の基幹店3店舗にてスタート

※ 取り扱い開始時期につきましては、店舗により異なります。(7月上旬より順次導入予定)

また、今回の『銀聯 QR コード決済』導入に伴い、導入施設におきましてキャンペーンを実施する予定です。キャンペーンは、『銀聯 QR コード決済』をご利用のお客さまにキャッシュバックを行うものです。従来の UnionPay(銀聯)カードのキャンペーンと異なり、今回は決済処理時に自動的に割引対応を行う為、店頭での割引オペレーションが一切不要となっております。銀聯は同キャンペーンにより、さらなる『銀聯 QR コード決済』利用ユーザーの拡大と、日本での同決済の利用促進を図ってまいります。

今後、銀聯と三井住友カードはさらに協力関係を深めていくとともに、既存の POS 端末やカード端末でも『銀聯 QR コード決済』が取り扱えるよう対応してまいります。引き続き、両社は協力して、訪日外国人観光客の利便性と、日本におけるインバウンド消費拡大に努めてまいります。

※商品名、会社名、団体名は、各社の商標または登録商標です。

以 上